

運動遊びを 学校生活に 取り入れる 体力向上モデル

運動の生活化/遊び＝学びの体育学習
運動の日常化/遊びムーブメントを起こす

京都市総合教育センター

研究課・カリキュラム開発支援センター

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

生活化 × 日常化

運動の「楽しさ」を味わうことのできる体育学習を作ませんか

学校に「遊びムーブメント」を起こしてみませんか

- 運動の楽しさを実感する
- 体力向上 ●主体性, 社会性の向上

- 外遊びをする児童の増加
- 体力向上 ●主体性, 社会性の向上

運動遊びを
楽しむ

運動遊びを
楽しむ

運動の **生活化**
～授業の中で楽しさを実感～
遊び＝学びの体育学習

運動の **日常化**
～運動遊びを身近なものに～
計画的な運動環境整備

子どもたちが楽しく学べる
体育学習にしたいな

どんなことに気を付けて、
授業づくりをしていけばいいのかな

子どもたちが主体的に学ぶ
体育学習にしたいな

体力向上を図るにはどうしたら
いいかな

全校児童が進んで遊びたくなる
工夫を知りたいな

クラス遊びを充実させたいな

苦手な子も元気に外で遊べる
ようになってほしいな



運動の日常化

運動遊びを身近なものにするために、
様々な工夫をしましょう

遊び場、遊び道具の整理



気軽にケンパが
できる遊び場



全校児童がいつでも
活用できるしっぽ

遊びの掲示

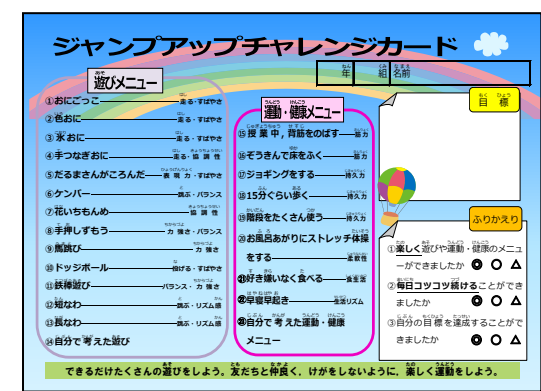


新しい遊びを知ること
ができる掲示



ゴムとびの手順を示し
た掲示

遊びをうながす配布物



つい遊んでみたくなるようなものを
用意するといいですね。

全校児童がよく目にする場所を選んで掲示するとよいです。
また、体育の授業で行ったものをとりあげるのもよいです。

児童が手に取って試みることができると、「遊んでみたい」という
意欲が高まります。研究課のHPに詳細をアップしています。

クラブ活動で遊びに 取り組む



様々な種類の運動
遊びを取り入れた
遊びクラブの創設

楽しく遊ぶことができるような遊びを年
間を通して継続的に行うとよいですね。

全校縦割り活動で 遊びに取り組む



月1度の縦割り
遊びの時間で楽
しく遊ぶ

異学年縦割りグループで
の活動なので、自然と、
教え合いや伝え合いがう
まれますね。

朝会を使って 遊びを広げる



朝会の時間を活用した、教職員に
よる遊びの紹介劇

教職員による劇をすることで、子どもたち
の意欲は非常に高まりますね。

獲得した遊びを 学年で遊ぶ



紹介してもらった遊びを学年全体
で遊ぶ時間の設定

継続的に続けることで、遊びが自分の日常
の一部となりますね。

学校、学年、学級の実態に応じて、
取り組んでみてください。

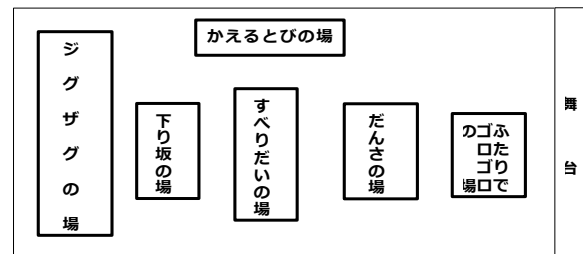


運動の生活化

遊び＝学びの体育学習となるための四つのポイントを意識しましょう

児童の自由度を高めること

事例1 | 1年マットあそび



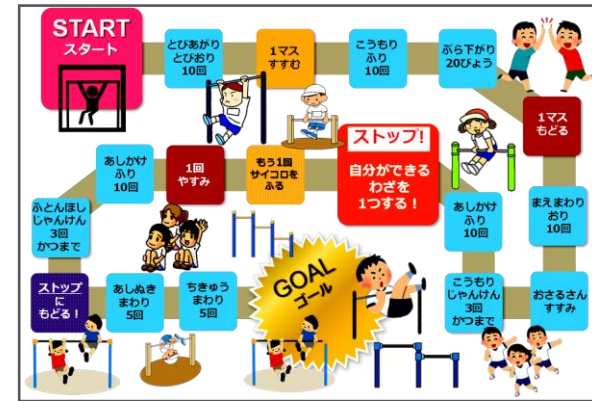
選択できること
変更できること
工夫できること

指導者のねらいが反映された場を設定する
自分たちが遊びやすいような場の工夫をしてよい
ペアで自由に場所を移動してよい

自由度を高めることで、子どもたちは自ら進んで活動していきます。ある程度の遊び（ゆとり）がないと、子どもたちは窮屈に感じます。

楽しさの要素を取り入れること

事例2 | 2年てつぼうあそび



競争 達成
克服 運
真似 心地よさ

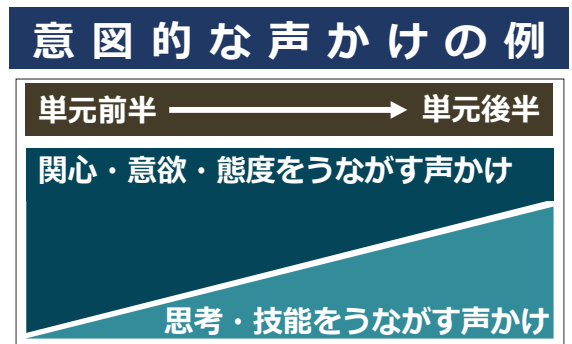
多くの楽しさの要素を意図的に取り入れる
獲得した遊びをてつぼううすぐろくで楽しむ
自分たちが遊びやすいようにルール変更してもよい

鉄棒は「達成・克服型」の運動とされていますが、低学年の子どもたちにとっては、そうでない場合もあります。意図的に多くの楽しさを取り入れることで、誰でも楽しく活動することができます。



児童の励みとなる声かけを続けること

関心意欲態度→思考技能へ



単元の初めは、子どものやる気のスイッチを入れるようにします。子どもたちのやるスイッチが入れば、思考・技能をうながす声かけをします。

単元前半は、関心・意欲・態度に関わる内容
単元後半にかけて、思考・技能に関わる内容
実態に応じて、励みとなる声かけを続ける
いいよ
この調子
ナイス
〇〇ができているね

児童の学びの姿を明確にしておくこと

児童の姿を基にした指導を

事例3 | 1年とびばこあそび



学びの姿を明確にしながら学習を進める
両足で強く踏み切るとい情報、児童にしみ込む
いくつか視点を変えて見ること、技能が高まる



さらに詳しく知りたい方は、京都市教育委員会、研究課のHPへアクセス

学びの姿（指導したいこと）が明確であるからこそ、児童の姿を基にした指導ができます。

生活化×日常化

京都発！確かな教育実践のために 30

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

-運動の生活化/遊び=学びの体育学習-

-運動の日常化/遊びムーブメントを起こす-

発行 平成29年3月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発センター

〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705

FAX 075-353-4851